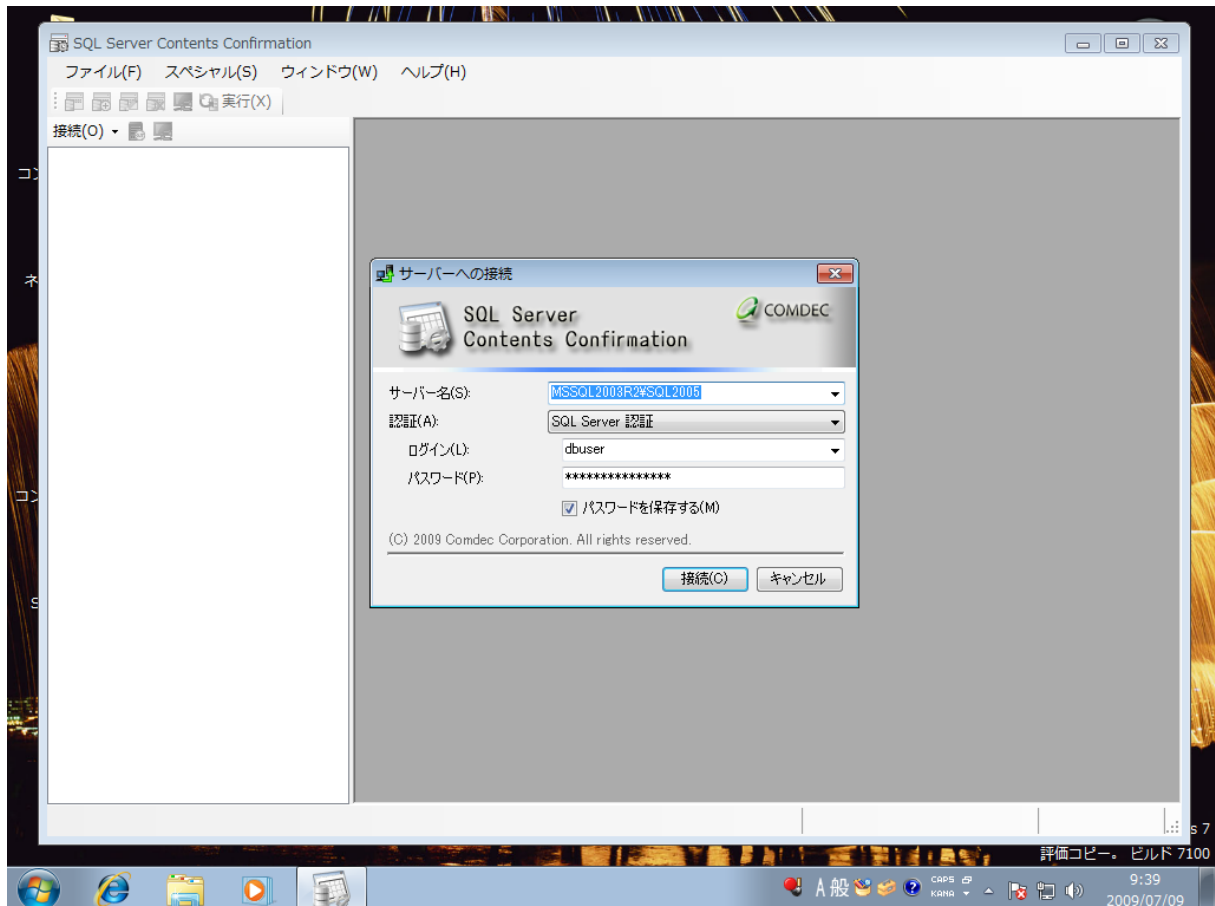


## 概要

SQL Server Contents Confirmation は、Microsoft 社の RDBMS である『SQL Server』に作成されているデータベースのテーブル情報を確認、操作するためのソフトです。

SQL Server Management Studio と同一の操作体系を採用しており、ユーザー様は、直感的に操作をしていただけるよう作成されています。



## 開発目的

SQL Server Management Studio は非常に優れたツールですが、テーブルの列の情報と、列に対する説明が分かれて表示されています。

正確には、上ペインには、列の名前、データ型、Null 値の許容が一覧で表示され、列の説明を見ようと思うと、対象の列を指定し、下ペインに表示されるプロパティタブの中にある説明行の内容を参照しなければなりません。

これでは、データベース設計者が開発者に向けて、列に対して分かり易い説明を付けたとしても、開発者はデータベースに登録されている内容、登録すべき内容が簡単に把握することができません。

「ACCESS のテーブル設計の様に、列の情報が一目で分かれば、開発時間も短縮できるのに…」そんな思いからこのソフトを開発しました。

## 主な機能

- ・複数の SQL Server インスタンスの接続情報を保存
- ・複数の SQL Server のバージョンに対応
  - SQL Server 2000
  - SQL Server 2005
  - SQL Server 2008 ※1
- ・テーブルのデザイン参照機能
- ・テーブル内のデータ参照機能
- ・各種基本ステートメントのクリップボードへのコピー
  - SELECT、INSERT、UPDATE、DELETE
- ・テーブル内のデータ強制修正機能 ※2

※1 geometry、Geography データ型には非対応

※2 初期設定では無効となっております

## ライセンス

初回起動後 2 週間は、使用制限なしで、無料で試用することが可能です。

試用期間経過後は、エラーメッセージが表示され、ソフトを起動することはできなくなります。

※ ライセンスは、デバイスライセンスです。インストールするパソコン 1 台につき、1 つライセンスが必要となります。

## ソフトウェアの価格

3,000 円（税込 3,150 円）

複数ライセンスをご希望の方は、弊社までご連絡ください。

別途お見積りをさせていただきます。

## 動作環境

- ・ Windows 2000 SP4 以上
- ・ Windows XP SP2 以上
- ・ Windows Vista
- ・ Windows 7 RC 版

※ ただし、すべての動作環境で、Microsoft .NET Framework 2.0 SP1 以降の導入が必要です。

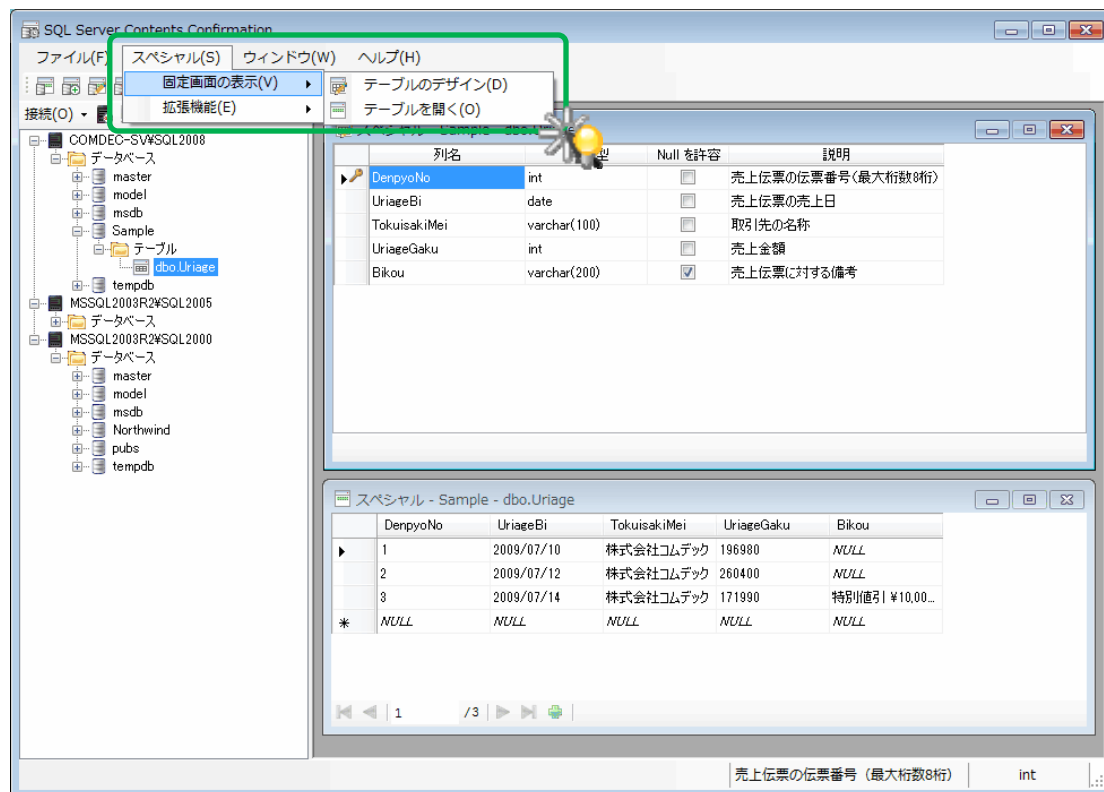
## 便利な機能のご紹介

SQL Server Contents Confirmation の機能のうち、便利な機能を抜粋して、ご紹介させていただきます。

### 固定画面の表示

スペシャル - 固定画面の表示 - テーブルのデザイン

スペシャル - 固定画面の表示 - テーブルを開く



固定のテーブル情報確認画面、固定のテーブル蓄積データ確認画面が表示されます。

通常は、参照したいテーブルを右クリックすることによって表示される、ショートカットメニューより、確認画面を表示します。表示された確認画面はテーブルに依存し、一つのテーブルの情報、データだけが参照できます。

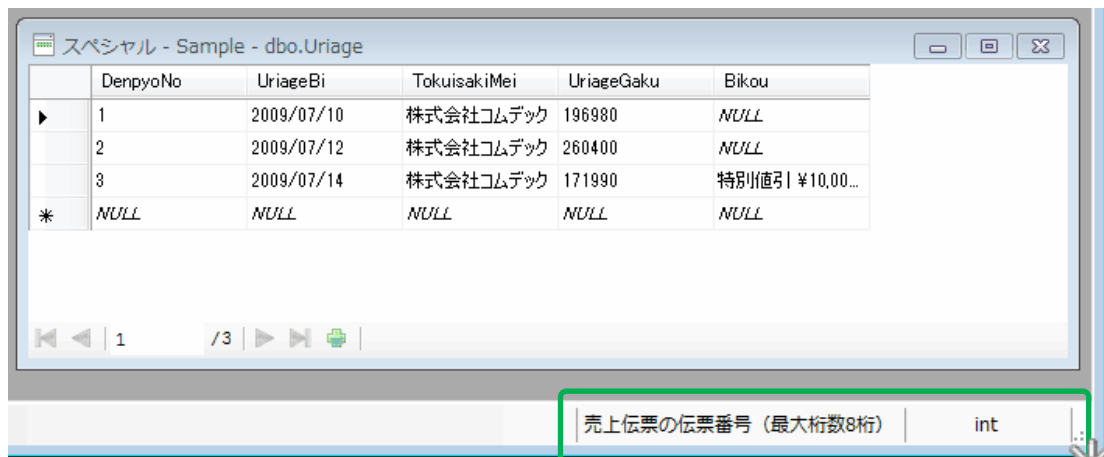
固定画面は、テーブルに依存せず、常に表示されている画面になります。左ペインのリストにあるデータベースのテーブルを選択すると、選択されたテーブルの内容に確認画面の内容が書き換わります。

テーブルの内容を確認するために、わざわざ複数個の画面を開く必要がなく、クリック一つで切替え可能な、非常に便利な機能です。

## 便利な機能のご紹介

### 列情報の表示

操作なし - 標準で実装されています



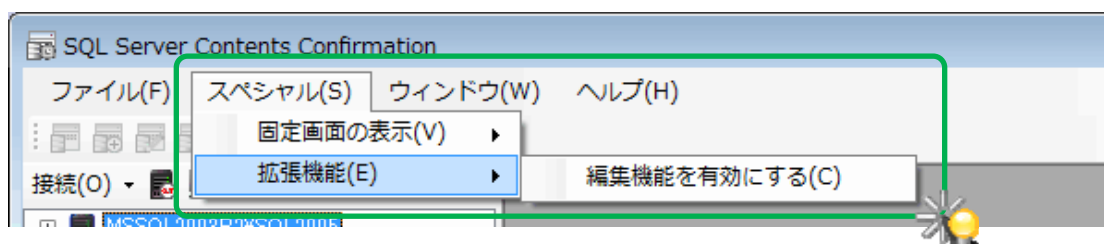
リレーショナルデータベースでは、蓄積されているデータそのものを見るだけでは、どのようなデータが登録されているかを把握することが難しい場合があります。

SQL Server Contents Confirmation は、現在選択しているセルの列情報がステータスバーに表示されるようになっています。

列の説明に必要な情報を明記しておけば、例えば血液型を【 1:A 型 2:B 型 3:O 型 4:AB 型 】として、数字で登録していたとしても、資料を探すことなく、必要な情報を得ることができます。

### 蓄積データの強制修正

スペシャル - 拡張機能 - 編集機能を有効にする



本機能は、初期設定では無効となっています。

システム開発者は、システムデバッグの際に、既存データの修正、テストデータの登録等、どうしてもテーブルのデータを直接修正したい場合があります。

本機能は、初期状態では閲覧のみのテーブル内容を、直接手修正できるよう、拡張を行う機能となっております。

ただし、テーブルの内容を直接変更する、という性格上、本機能はデータベースの内容に、多大な影響（既存データの消失、整合性の損失等）を及ぼす可能性がございます。

ユーザー様の適正なご判断の下、自己責任にてご使用いただけるようお願いいたします。